

京丹波町地域福祉活動計画

いつでも参加できる活動づくり

～いつでも どこでも 誰でも参加できる町に～

この計画は、京丹波町に暮らすすべての住民のみなさんのためのものです。
地域には、さまざまな人が暮らしています。
多くの人と知り合い・語り合い・関わり合い、みんなの力を合わせることで
安心して暮らすことができる福祉のまちを目指します。

保存版



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

地域福祉活動計画(2期)について

令和元年度に策定した第1期計画、新型コロナウイルスの流行で受けた影響を検証し改善した1.5期計画を経て、第2期計画を策定しました。

この計画を策定するに当たり、現在の京丹波町での生活状況とこれからの暮らしについてアンケート調査をしました。その結果の中で特に重要な点を示します。

社協HPに詳しいアンケート結果を掲載しています。右のQRコードからご覧ください。



世帯構成や年齢によって地域課題や生活課題は異なります。下のグラフでは、それぞれの世代が、困っていること、不安に感じていること、関心を持っていることが見えてきます。「今後、何が必要になるか、大切なのか」を自分ごととして一緒に考えていきましょう。

アンケート結果を元に、計画の方針と3つのキーワードを定めました。

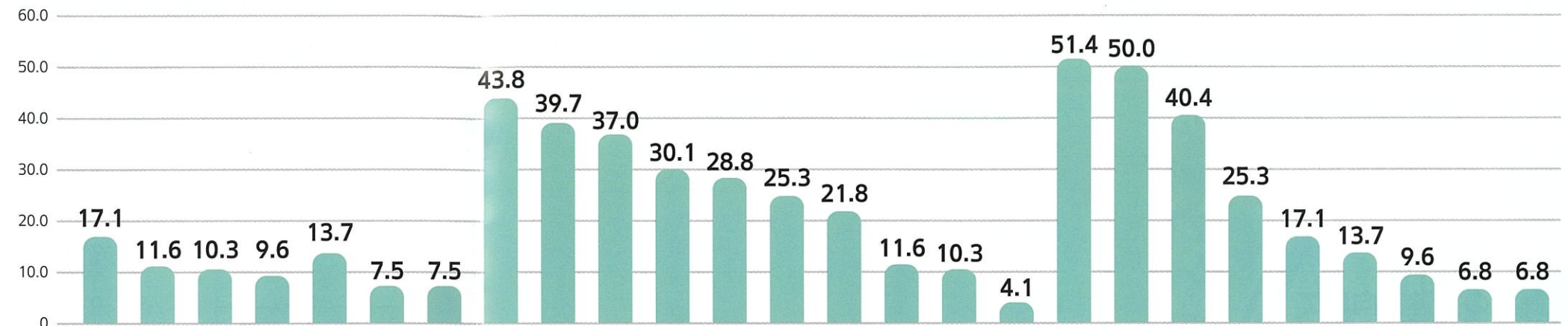
日頃の暮らしの面で困っていること (複数回答)

子育て世代は日々の暮らしで精一杯。子育てや仕事、家計のやりくりの大変さが表れているね。



通学・通勤・通院などが便利になったり、助け合いがあつたりすると、心にゆとりが生まれるかも…。

総回答数223 単位%



	困りごとはない	困りごとがある	雇用労働に関すること				つながり・対話			社会保障・社会福祉・医療・教育に関すること										暮らしに関すること									
			賃金、事業収入が低い	自由な時間や休日が少ない	仕事の後継者がいない	労働時間が長い	近所づきあいがむずかしい	相談相手が身近にいない	家庭での対話が少ない	老後のこと	年金が少ない	税金や保険料が高い	貯金ができない	家族の介護	災害が起きた時のこと	医療費・入院費が高い	コロナに感染した時のこと	子どもの教育・進学(通園・通学)	子育てのこと	雪かきが大変	運転ができなくなった時のこと	家族の病気・事故	庭木や雑草の手入れができない	炊事・洗濯掃除などの家事	家計の赤字	収入が不安定	返済・ローンの借金・ローンの返済	ゴミ出しが困難	
	30.0	65.5	17.1	11.6	10.3	9.6	13.7	7.5	7.5	43.8	39.7	37.0	30.1	28.8	25.3	21.9	11.6	10.3	4.1	51.4	50.0	40.4	25.3	17.1	13.7	9.6	6.8	6.8	
	29.6	70.4	15.8	21.1	5.3	10.5	10.5		10.5	26.3	10.5	26.3	36.8	26.3	5.3	15.6		15.8	10.5	42.1	15.8	36.8	10.5	5.3	31.6	5.3	31.6		
	33.8	64.6	26.2	19.0	14.3	14.3	11.9	4.8	9.5	42.9	31.0	50.0	31.0	33.3	26.2	23.8	7.1	19.0	7.1	50.0	42.9	47.6	19.0	21.4	11.9	14.3	7.1	4.8	
	7.7	92.3	28.3	8.3						58.3	25.0	33.3	8.3	41.7	41.7	16.7	25.0			50.0	75.0	25.0	16.7	8.3					
	14.3	85.7	25.0		8.3	16.7	33.3	8.3		66.7	41.7	25.0	25.0	33.3	25.0	16.7	33.3			66.7	58.3	41.7	25.0	16.7		8.3		8.3	
	27.1	72.9	9.3	7.0	11.6	7.0	11.6	4.7	7.0	39.5	58.1	37.2	32.6	25.6	23.3	50.9	7.0	4.7		51.2	58.1	44.2	27.9	11.6	9.3	7.0		9.3	
	39.5	36.8	14.3	7.1	14.3		21.4	35.7		42.9	42.9	21.4	28.6	21.4	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1	50.0	57.1	28.6	64.3	42.9	21.4	7.1		14.3	
)		100.0	50.0	100.0		50.0	50.0			50.0	50.0		50.0	50.0	50.0			50.0		50.0			50.0						
	31.8	63.6	21.4	21.4	14.3	35.7				35.7	35.7	57.1	42.9	14.3	24.4	35.7	7.1	28.6	14.3	57.1	28.6	28.6	21.4	7.1	28.6	14.3	14.3		
	26.2	69.0	20.7	10.3	3.4	13.8	10.3		6.9	37.9	13.8	34.5	27.6	24.1	17.2	6.9	6.9	27.6	13.8	55.2	37.9	31.0	17.2	13.8	20.7	17.2	10.3	3.4	
	30.4	65.2	23.3	10.0		6.7	6.7	3.3	3.3	43.3	26.0	30.0	23.3	23.3	20.0	6.7	13.3			36.7	30.0	30.0	16.7	3.3		10.0	10.0		
	33.3	64.4	17.2	10.3	13.8	3.4	10.3	17.2	13.8	55.2	48.3	44.8	27.6	31.0	31.0	34.5	13.8	3.4		55.2	75.9	55.2	24.1	20.7	17.2	10.3	6.9		
	32.7	65.5	8.3	8.3	19.4	2.8	27.8	8.3	11.1	14.4	69.4	33.3	36.1	38.9	30.6	33.3	13.9	2.8		55.6	75.0	55.6	38.9	36.6	11.1	2.8		22.2	

グラフから読み取れること

- ・1人暮らしの人は「困りごとはない」と回答している人が多い一方、家事や庭の手入れ、移動手段など日常生活での困りごとを抱えている人が多いことが分かります。
- ・「相談相手が身近にいない」「近所付き合いがむずかしい」と感じている人も多く、頼めない、相談しづらいということが分かります。

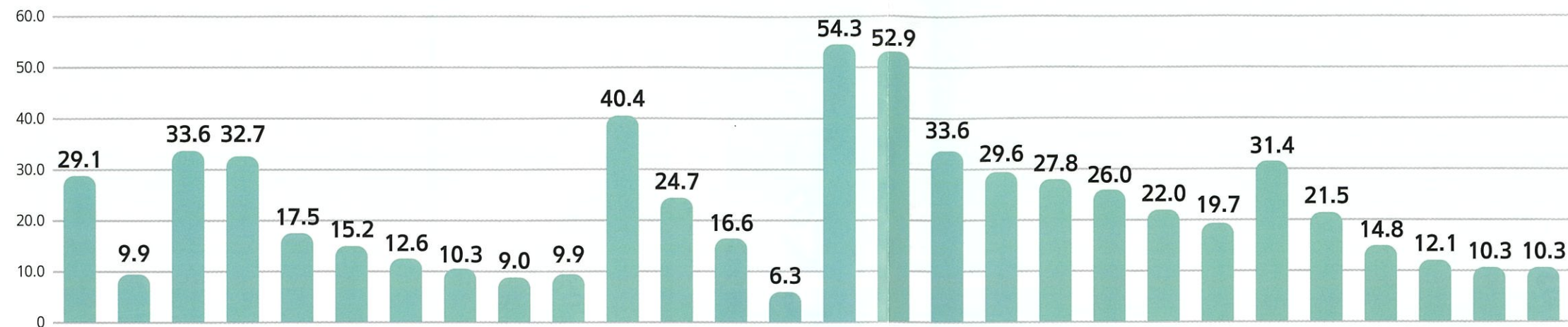
頼れる人が近くにいたらいいんだけど…。その人だけでなく、地域全体の困りごとなのになあ。地域の人みんなで考えていけたらいいね。



老後に備えて、40代後半から自分ごととして困りそうなことを地域で考えられたらいいなあ。

身近な地域でなんとかしなければならぬと考えていること

(複数回答)



総回答数223 単位%

合 計		29.1	9.9	33.6	32.7	17.5	15.2	12.6	10.3	9.0	9.9	40.4	24.7	16.6	6.3	24.3	52.9	33.6	29.6	27.8	26.0	22.0	19.7	31.4	21.5	14.8	12.1	10.3	10.3
世帯構成別	1. 三世帯	29.6	14.8	51.9	29.6	11.1	14.8	7.4	7.4	11.1	11.1	51.9	40.7	14.8	7.4	55.6	44.4	33.3	33.3	29.6	33.3	25.9	25.9	33.3	29.6	14.8	18.5	7.4	18.5
	2. 夫婦と子	33.8	10.8	38.5	43.1	12.3	16.5	10.8	4.6	10.8	7.7	44.6	30.8	12.3	4.6	50.8	53.8	38.5	26.2	27.7	30.8	21.5	21.5	30.8	23.1	15.4	16.9	16.9	18.5
	3. 夫婦と親	38.5	15.4	46.2	23.1	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	53.8	7.7	30.8		61.5	76.9	46.2	38.5	46.2	38.5	30.8	7.7	53.8	38.5	23.1	7.7	7.7	
	4. 一人親と子	21.4	14.3	28.6	21.4	21.4	14.3	14.3		7.1	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	78.6	71.4	28.6	42.9	35.7	21.4	28.6	7.1	28.6	28.6	21.4	14.3	21.4	7.1
	5. 夫婦のみ	28.8	6.8	28.8	33.9	27.1	16.9	15.3	18.6	6.8	6.8	44.1	23.7	22.0	6.8	47.5	59.3	28.8	37.3	27.1	23.7	16.9	20.3	30.5	23.7	13.6	8.5	5.0	6.8
	6. 一人暮らし	21.1	5.3	21.1	23.7	13.2	10.5	10.5	7.9	10.5	15.8	18.4	10.5	13.2	10.5	57.9	31.6	31.6	13.2	15.8	13.2	23.7	21.1	21.1	2.6	5.3	7.9	12.6	
年齢別	25歳~34歳(n=2)	50.0		100.0				50.0				50.0		50.0		50.0	100.0	50.0		50.0	100.0		50.0	50.0		50.0	50.0		
	35歳~44歳	45.5	9.1	50.0	50.0	4.5	13.6		4.5	4.5		36.4	27.3	4.5		59.1	45.5	36.4	22.7	18.2	27.3	36.4	9.1	22.7	13.6	22.7	18.2	9.1	4.5
	45歳~54歳	26.2	9.5	28.6	23.8	9.5	11.0	7.1	11.9	9.5		23.8	31.0	9.5		50.0	31.0	35.7	19.0	26.2	26.2	26.2	16.7	26.2	14.3	10.7	9.5	11.9	21.4
	55歳~64歳	41.3	17.4	37.0	23.9	15.2	98.7	6.5	6.5	4.3	8.7	43.5	17.4	8.7	2.2	60.9	65.2	37.0	23.9	26.1	30.4	28.3	21.7	28.3	19.6	10.9	10.9	6.5	10.9
	65歳~74歳	35.6	11.1	35.6	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	13.3	13.3	57.8	26.7	28.9	11.1	53.3	62.2	33.3	35.6	40.0	37.8	22.2	28.9	42.2	28.9	17.8	17.8	15.6	8.9
	75歳以上	12.7	3.6	27.3	40.0	29.1	20.0	23.6	20.0	9.1	12.7	41.8	25.5	23.6	10.9	50.9	58.2	27.3	43.6	23.6	12.7	10.9	16.4	36.4	27.3	14.5	14.5	7.3	7.3

みんなで若い世代を見守りながら、お互いに助け合う関係性があると良いな！



昔と比べると地域の活気が減ってきているという声もあるなあ。

役員の人手不足や地域行事、生活の困りごとが課題と思う55歳以上の住民が多いのう。高齢になるにつれて、助け合いやつながりを求める人が多いのう。関係しておるのかもしれんのう。だからこそ、解決するにはみんなで関わる事が大切じゃのう。



グラフから読み取れること

- ・若い世代は世代間交流が乏しいと感じている一方で、高齢世代は住民相互の助け合いが乏しいと感じているなど、世代間で認識の違いが表れています。
- ・地域で活躍している55歳以上の現役世代は、地域課題に強い関心を持っています。高齢化や人口減少により、後継者が減って危機感を感じている人が多いです。



子育てや仕事などを終えて、地域に目を向け始めるのが60代以上なのかもしれないね。私ら60代からの新たな『出番』やね。

【グラフの読みかた】

- ・表の中の平均(合計)より3%以上高い数値に色をつけています。
 - ・25歳~34歳は、回答が2件と少なかったため割合の数値が大きくなっています。
- 【アンケートの調査先】
須知区(丹波)、中台区(瑞穂)、安栖里区(和知)、橋爪子ども会、井尻・長谷子ども会、スポーツ少年団(ホッケー)、京丹波町共同作業所利用者と家族
配布数500通中 回答223通(回収率44.4%)

いつでも参加できる 活動づくり

第3期(2026年)

～いつでも どこでも 誰でも参加できる町に～

思いを『かたち』に する場づくり

アンケート調査から、交通、老後の生活、地域の役員のなり手、等に課題を感じている人が多いこと、年代や世帯によっても困りごとに違いがあることが分かりました。
それぞれの地域で自分たちの地域について話し合い、語り合うことで地域の困りごとを知り、解決に向けた仕組み（『かたち』にする場）を作っていきます。

『よいあんばい ネット』づくり

1期の取り組みや1.5期の聞き取りで、地域には結び目（つながり）があることが分かりました。また2期のアンケートでは、一人暮らし世帯や一人親と子の世帯、若者、高齢者でも困りごとが多く、つながりが必要であることも分かりました。
地域の中にあるつながりやそれぞれの見守りの活動である『地域の結び目』を、よいあんばい（ほどよい関わり）でつなぎ合わせ、もっと大きな『つながりのネット』を作っていきます。

誰もが『きょうどう』 できるしくみづくり

日常生活の中では様々な困りごとがあり、地域のみなさんが力を合わせ『きょうどう』して、助け合うことが重要です。『きょうどう』という言葉には様々な漢字がありますが、それぞれ力を合わせて助け合うという意味で共通しています。
お互いの5年後、10年後のことも考え、『きょうどう』できる仕組みを作りましょう。

思いを語り合える 場づくり

人と人との 結び目づくり

みんなの 出番づくり

【第1期計画の方針】 みんなが参加したくなる土壌づくり

第1期計画は、住民同士がお互いに知り合い、語り合い、関わり合うことで『福祉の土壌づくり』を進めることを目標に取り組みました。

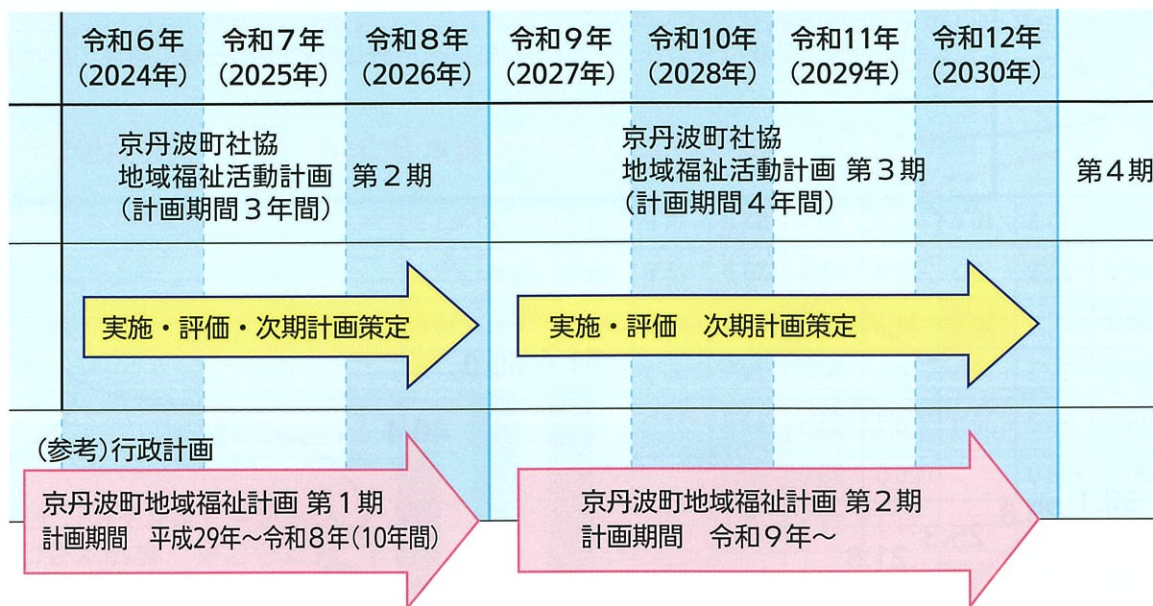
新型コロナウイルスの流行を受け、第1期計画をコロナ禍の活動に合わせ見直しました。

第2期(2024年)

第1.5期(2022年)

第1期(2020年)

計画策定のスケジュール



計画の推進に向けて



本計画を推進するためのしくみとして、本会職員を中心にしたプロジェクトチームにより、「PDCAサイクル」に基づいて継続的に進捗管理を行います。

令和6年度に計画を策定し、令和9年の第3期計画までに実行、評価、改善に取り組んでいきます。

■京丹波町地域福祉活動計画策定プロジェクトアドバイザー

志藤 修史 大谷大学社会学部 教授

河野 拓也 (福)京都府社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 主事

■イラスト作者

土屋隆亮 JAHAPON LAND



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

令和6年3月

〒622-0311 京都府船井郡京丹波町和田田中6-1

TEL 0771-86-1444

FAX 0771-88-0037

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>



ホームページ